

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	北部市民プール改修整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	スポーツ振興課			
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		主管課長	金子 邦晃			
					01	10	06	04
							01	61

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	北部市民プール利用者	意図	安全・快適にプールが利用できるよう施設を良好な状態に保つ。
事業内容	老朽化したプールのろ過装置を取替え、水質を適正に維持し利用者の保健衛生の向上を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和56年度に竣工した北部市民プールのろ過機については、設置後は平成19年にろ剤を交換しているがろ過機本体については34年以上経過し、劣化が進んでいるため交換するものである。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	ろ過機を取り替えたことにより、水質管理が適正に維持し安全・快適に利用できる良好なプール状態に保つことができた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				18,290,500			
事業費(b)(円)				17,604,000			
うち一般財源				17,604,000			
職員給与費(c)(円)				686,500			
人役・職員(人)				0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	プール全体の点検を行い、安全・快適に利用できるよう施設を良好な状態に保つ。	③取組の課題	施設自体が老朽化していることから、今後の維持管理が検討課題である。
②今年度(H28)に実施した取組	既設ろ過機の交換及び配管撤去を行った。	④今後の改善計画	引き続き、安全性に配慮した維持管理に努める。